



▲スライム作り(青少年子ども教室)



▲若戸小学校児童によるブラスバンド演奏(市民館まつり)

地域の話題

若戸校区

地域力を生かして安心して暮らせるまちづくり

さまざまな行事などを通じ、地域の結びつきを大切にしている若戸校区コミュニティ協議会からお便りが届きました。



今年度は、地域の一大イベントとして定着した「市民館まつり」をはじめとして、「校区ふれあい会」「青少年子ども教室」などさまざまな行事を行いました。こうした行事を通じて、大人と子どもたちとの交流が図られ、地域の結びつきが一層強くなっています。

ふれあい防災教室

平成25年度から始めた、まだ新しい行事です。

自主防災会を中心に、市民館に避難した住民全員で、非常持ち出し袋の中身を確認したり、防災倉庫を見学したりしたほか、備蓄品の確認および機器の取り扱いについての講習会を開催しました。また、防災勉強会を行い、炊き出し訓練、避難所宿

泊体験も行いました。

若戸小での防災キャンプ

今年度は、若戸小学校と合同で、9月5日(金)～6日(土)に、若戸小学校5・6年生を中心に防災キャンプを実施しました。参加した児童たちは、自分たちで話し合って考案した避難所の居住空間を実際に設置して宿泊体験をしました。また、

防災DVDを使った学習会

やリラクゼーションなどの体験をしました。

訓練を終えた参加者からは、「非常持



▲児童による避難所の提案発表(ふれあい防災教室)

ち出し袋のことなど改めて家族と話し合いたい」「防災に対する意識が高まってよい」などの意見が聞けました。

若戸校区では、今後も防災教室などを実施することで、地域、学校および家庭が連携しながら、地域全体の防災意識向上と地域防災力の強化を図り「住民(人々)が安全に、安心して暮らせるまち」になるようにしていきたいと思っています。



▲ビニール袋を利用した三角巾講習(ふれあい防災教室)